

羽区  
新地

ふくしの和

題字 長澤 茂

第12号

発行 横浜市港北区  
新羽地区社会福祉協議会  
会長 中村 信男  
編集人 松村 清見  
港北区新羽町2445  
☎(542)7681

あけまして

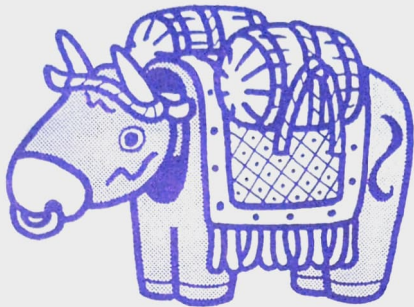
おめでとうございます

新羽地区社会福祉協議会 会長 中村 信男

あと三年もたてば二十一世紀を迎えます。この世紀末、世界中が慌しく動いている気がしますが、ここ数年、連続して発生している世紀末の事件は、ついに国の福祉政策の根幹を揺るがす特養ホーム汚職事件に発展してしまいました。

私たちは過去数回、福祉施設を見学してきましたが、ここが汚職の舞台になるとは夢にも思わず、利権とは無縁の「聖域」であると感じてきました。

この事件をキッカケにして、福祉事業の末端を担う地区社協のあり方が批判にさらされることになってしまいました。毎年納入されている社協賛助会費は、新羽地



区の本年度合計一四四万円に達し、当地区の社協に対する並々ならぬ関心の高さを示しております。皆さんの期待に応えるためにも、地区社協の事業や予算配分について、地区の実情にあうよう見直すべき時期に来ていると思います。

建設的ご意見があれば、会長及び事務局並びに本紙編集部あて、進んでお寄せ下さい。二十一世紀を万全の態勢でスタートすべく、今から準備を進めたいと思います。

年頭のことばが「お願い」になってしまいました。新羽地区社協に一層のご支援をよろしくお願いします。

新年に亘り福祉の土壌を育てる目的の企画として、「新羽に思うこと」の課題で丑年生の方に考えをきいてみました。

北新羽町内会

丁丑年 金子 淳一

可愛い娘は新羽へ嫁にやると、昔いわれたとか、鶴見川の洪水の被害は、こんな言葉からも、どんなに大きなものであったことか、うかがうことが出来る。

然し全長四十キロメートルをこす曲りくねった川も現在は、護岸も整備され、川幅も広げられ、ゆるやかに流れる立派な一級河川になって昔日の面影はない。

夏の日に学童疎開で津久井郡へ行っていた教諭の父に召集令状を届ける為に、疲れと暑さに、泣きながら小机駅までやっと歩いたつらい思い出の道も、今は車の列にいらだつ町に変わりました。地下鉄も新羽を北から南へと、高架で頭上を走り新羽に駅までも出来た。先人達の何百年という苦勞と忍従の土台をふまえて、住民達が町会を軸として新羽町発展の為にたゆまぬ努力をしてきたのであろう。

この町の一人であることを心から感謝し、更に発展する為に、自分のおかれた立場でささやかでも一層の努力をせねばと、あらたな決意をする一人です。



自治会

己丑年 大里 文男

私がこの新羽に住んで三十一年の歳月が流れました。町の風景も平成五年の地下鉄の開通と共に少しずつ様変わりし、この町で生活する人々も変わりつつある様に思えます。最近では、他人に対して無関心な人が多く、隣近所にどんな人が住んでいるかさえ知らない人が少なくありません。便利ですが、らしい町に変わらうしつつありますが、人を思いやる心豊かな人が一人でも多くなれば、この新羽も、もっとすてきな町になるのではないかと思います。私はいずれこの新羽を離れることになりましたが、いつまでも心豊かな人の多い町であってほしいと思います。

中央町内会

辛丑年 中山 美和子

地下鉄が開通した数年前から急速に変化、成長した「新羽」です。が子供の数は一向に増加せず、昨

年春、小学校に入学した長男の学年など二十六名のクラスのみにいった状況です。他の学校の方に話すと驚かれる人数ですが、折に触れ子供達の様子を見てみると、常に男女が助け合い、高学年が低学年の面倒を優しく見てくれる姿に感心させられます。学校という組織の中で一つの兄弟姉妹という関係ができ上がっており、それというの少数人数という状況の中からは生まれた「和」なのではないでしょうか。何年後かこの兄弟達がこの「和」を保ちつつ思いやりのあるあたたかい「新羽」にして行ってくれる事と信じております。

中央町内会

癸丑年 秋元 和明

僕が生まれた頃は、まだ新羽にも田んぼがあったと聞いているが覚えがない。その場所に、工場、住宅が建ち並び、今では地下鉄まで通っている。他所に行き、新羽町と書いても、ニッパと読んでくれる人はなく淋しい思いもしたが、電車の開通で、新羽と言う町名も少しは知られたと思う。しかし、まだ、田舎の都会みたいで、今一パツとしない。緑が多く住みよい環境は確かだが、新羽駅を中心に工場を減らして、町に変わってくれる様に願いたい。なんてったってこれから先、僕らの時代になって行く事はまちがいないのだから、そして、この先も新羽に住んでいたいと思える様、今、新羽を背負っている町会の役員さんよろしく。

## 横浜相原病院を訪問して

中之久保町内会  
米山 八千代

十月二十九日(火)紅葉の美しい候、  
新羽地区社会福祉協議会のメン



気に包まれていました。  
副院長先生のご説明で、診療科目は精神科、神経科、心療内科で患者の自立を目指した治療を行っているとのことでした。

特に指先の小さな動きのトレーニングが重要で、作業療法室には人形、版画、陶芸など数多くの作品が置かれ、または、ピアノ、ギター、ドラムなど楽器も備えてあり、若い時に演奏した人は、その技量が衰えることなく、こうした動きを通して、傷ついた心を回復して行くのだそうです。

最後に、ケースワーカーのお話によりまずと、患者さん本来持っている特技を活かし、なかでも、お年寄りの患者さんは、若い時のものが取り戻せる様にしてあげる事が大事との説明を受けました。事務長さんはじめ職員の皆さんの温かい歓迎を受け有難度うございました。患者さんの一日も早い快復を祈りながら、病院を後にしました。

## 民生委員活動について

中央町内会 中丸 恵子  
私が民生委員を引き受けて

いただいてから早いもので、丸四年になろうとしています。ようやく一年間の民生委員としての仕事の動きがわかってきた様な気がします。毎年決まった活動の他に、担当地区の高齢者の方、一人暮らしの方、ねたきりで介護を必要とされている方達の為のサービスなど役所からの情報、また逆に役所への要望などを伝えていくというパイプ役が民生委員の仕事だと思っています。

戦後から五十年たち社会福祉も奉仕活動や慈善活動ではなく、お互いのささ合いであり、共に生きる(共生)という考えの基、社会に発生する様々な課題に対し自らの意志で参加し、それを解決しようとする考えに変わってきていると思います。自分達の社会をより住みやすくする為の意見や情報またボランティアをやってみたいけど具体的にどういう事から手を着けたらいいかわからないという人、この両者をつなぐパイプ役も民生委員としては是非やっていきたい仕事のひとつだと考えています。

何かご意見、ご要望がありましたらぜひお知らせいただきたいと思います。

「ぬくもり」  
車いすを使用して

北新羽町内会 飯島 美智子

我家には87歳の祖母がいます。

その祖母が七月上旬脳梗塞で左半身不遂になりました。幸い軽くすみ二ヶ月弱の入院でしたがその後には外に出る時は、車いすの生活となりました。地元の民生委員の方のご配慮で車いすをお借りしましたので祖母を連れて、どこかに行こうと、母と伯母、義妹と私の五人でお弁当を持って、三溪園に行



きました。車いすですで園内を散歩し、お弁当を食べ、ほんの短かい時間でしたが外に出たという事で随分と気持ち晴れ晴れとしたようです。通りがかりの人に「おばあちゃんいいわね」と声をかけられ嬉しそうに笑っている祖母の顔はとってもいい顔をしていました。

その日の帰りはデパートに行き、私たちと一緒にウィンドショッピングまで楽しめました。車いすのおかげで祖母の行動範囲も広がったようです。「たまには外に出なくちゃいけないな」と最近の祖母の

言葉です。我家では今度はどこに行こうかと、只今次の計画を立てている最中です。ただ世間はまだまだ、車いすで行動するには不便な所が多いようです。

## 事務局便り

●港北区社会福祉協議会、本年度の賛助会費のご協力ありがとうございました。

新羽地区 四四三名

一、四三七、〇〇〇円

●年末たすけあい募金

一、一四〇、六五三円

●協力ありがとうございました。  
●毎年入学児に、お子さんの通学の安全と、勉学推進の願いをこめて、黄色い帽子をお贈り致します。すこやかなご成長をお祈りいたします。

●このたび、主任児童・民生委員の改選が行われましたが、西村 淳さんが再選されました。児童福祉のためご活躍を期待致します。

●折たたみ式車いす、二台用意しております。使用ご希望の方は地区民生委員に申し出下さい。

## 編集後記

明けて  
おめでとうございます。



年頭にあたり「丑」年の方々に「新羽に思うこと」をテーマにしてお願いたしました。いかがでしたでしょうか。